

税関の年末特別警戒における副大臣、政務官の税関視察について

関税局監視課調査官 中尾 光宏

1 はじめに

令和元年12月、全国の税関において実施した令和最初の年末特別警戒において、遠山財務副大臣が沖縄地区税関を、藤川財務副大臣が東京税関を、井上財務大臣政務官が名古屋税関を、宮島財務大臣政務官が函館税関及び神戸税関をそれぞれ視察しました。

2 年末特別警戒とは

税関職員は、国民生活の安全・安心を脅かす麻薬・覚醒剤等の不正薬物、爆発物等のテロ関連物資、金地金等の密輸を防止するため、全国の港や空港などの水際で24時間、365日、取締りを行っています。毎年12月には税関の役割について広く国民の方々からご意見を伺うことや、各種団体の方々から不審情報の提供について協力を求めることなどを目的として、年末特別警戒を実施し、水際における取締りの強化や税関業務のPRを行っています。

この年末特別警戒は、昭和40年から実施しています。昭和40年から平成の終わりまでの53年間で、税関を取り巻く環境は大きく変化しました。いくつかの数字でその変化の大きさを見てみたいと思います。貿易額は6.0兆円から164.2兆円へと約27.4倍に、輸出入許可件数は340万件から5,968万件へと約18倍に、訪日外国人旅客数は37万人から3,119万人へと約85倍になりました。このように日本と海外との結びつきが非常に強まりました。

また、本年夏には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が迫っているところ、関係機関が協力してテロ対策を強化することとしており、我が国の水際の第一線にある税関の役割はより一層重要になっています。こうした状況の中で実施された年末特別警戒において、副大臣、政務官が税関の現場を視察し、訓示を行い、税関職員を激励しました。

3 両副大臣、両政務官の税関視察

遠山副大臣、藤川副大臣、井上政務官、宮島政務官は、視察において、水際の第一線で職務に精励している職員に対し、

(1) 外国人旅行者等が急増しており、来年には東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催が控えている中、厳格な取締り等により、国民の安全・安心の確保という税関の重要な使命を果たしていただきたい。

(2) 税関行政は日々国民と直接接する仕事である。国民からの信頼にこたえていくため、日夜懸命に職務に取り組んでいる職員に敬意を表するとともに、健康と益々の活躍を祈念する。

旨の訓示を行いました。

◆遠山副大臣の沖縄地区税関視察(令和元年12月10日(火))

監視艇「しまかぜ」に乗船し、那覇港内の海上巡回の状況を視察しました。

沖縄地区税関の最近の状況について熱心に質問し、近年は沖縄本島に加えて離島においても、東南アジアだけでなくヨーロッパからの外国人観光客が増えているといった説明を興味深く聞きました。



◆藤川副大臣の東京税関視察(令和元年12月10日(火))

東京税関本関においては、監視艇「あさひ」に乗船し、東京港の海上巡回の状況を視察したほか、税関検査場などを視察しました。その後、東京外郵便出張所においては郵便物の検査状況を、羽田税関支署において

は入国旅客の検査状況を視察するなど、税関の現場を幅広く視察しました。



◆井上政務官の名古屋税関視察(令和元年12月13日(金))

名古屋港において監視艇「ふじ」に乗船し、海上保安部や警察などの関係機関と協力した取締状況の説明について熱心に耳を傾けました。

また、平成29年7月に中部空港で摘発された、航空機内のトイレの壁の中に金塊を隠匿した事案など、近年の密輸手口について説明を受けました。



◆宮島政務官の函館税関視察

(令和元年12月12日(木)～13日(金))

函館港において、監視艇「しらかみ」に乗船し、船舶レーダーや監視カメラを用いた洋上取締の状況について説明を受けました。

その後、金地金の密輸は成田空港や羽田空港だけでなく、地方に所在する空港でも発生していることを受け、函館空港、新千歳空港において、門型金属探知機や旅客の検査状況を視察しました。



◆宮島政務官の神戸税関視察(令和元年12月16日(月))

ポートアイランド・コンテナ検査センターにおいて、海上コンテナを積んだトラックを検査することのできる検査装置や麻薬探知犬「ギャル号」による海上

貨物の検査状況を視察しました。その後、近年増加するクルーズ船のCIQ施設を視察しました。

また、函館税関及び神戸税関における視察の中で、若手職員と風通しの良い職場作りなどについて、意見交換の機会を設けました。



4 おわりに

副大臣、政務官が現場に足を運び、職員からの説明に熱心に耳を傾け、直接、職員に激励の言葉をかけるなど、税関職員にとっては大きな励みとなり、士気向上につながりました。

税関においては、間近に迫った東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向け、テロの未然防止のため水際対策を強化していきます。皆さまの税関業務に対するご理解とご協力をお願いいたします。テロ・密輸など不審な情報に接した場合は、下記の税関密輸ダイヤルに通報をお願いいたします。

密輸情報の提供のお願い

密輸防止には皆様の情報提供が大きな力となります。身の回りで「不審な貨物」や「あやしい言動をする不審者」などを目にした際は税関密輸情報窓口にご連絡ください。

税関密輸ダイヤル(24時間受付)

フリーダイヤル 0120 - 461 - 961

許しません シロイ(粉) クロイ(武器)

税関:密輸情報提供サイト

<http://www.customs.go.jp/mizugwa/mitsuyu/mitsuyu-dial.htm>



税関密輸情報提供サイトQRコード